

正しく動き、美しくつながり、強く創り出す「未来を生き抜く力」を育成する学校



「たい」のあられる時津小



↑こちらからも↑

令和6年 1月 9日（火） 発行人：校長 森内 秀学

3学期は「たい」×「自己コントロール力」で継続力へ

あいさつの言葉に迷うほどの災害や事故で迎えた新年。いつ何が起こるか分からないからこそ、安心、安全な学校づくりに目を配り、将来を生き抜く力を身に付けさせなければ！そんな思いになりました。改めまして、明けましておめでとうございます。

さて、2学期は、思いや意欲を行動につなげるべく取り組んできましたが、3学期のポイントは、それを「いかにして続けるか」です。実は、明確なゴールがない限り、思いや意欲というのは簡単には続かないことが、ある研究で分かっています。続けられるためには、「自律性」「人との関係性」「自己有能感」が重要だと指摘されています。

そこで3学期は、その中の一つであり、「正しく動く」にかかわる「自律性」つまり、誘惑に負けず約束やルールを守る「自己コントロール力」が身に付くようかかわることで、高まった思いや意欲を継続させたいと考えています。これは、くつを揃える、時間を守る、宿題をするなど、家庭と協力することで身に付きやすい資質です。よろしくお願いします。



11人目の用心棒

11人目の用心棒にお会いできました。交通指導員の「江川和之さん」です。元靴流通センター

のあたりに朝7時半まで立ってくださっています。ありがたいですね、ご紹介が遅れ、申し訳ありません。皆様、お会いしたら、あいさつとねぎらいの一声をお願いします。

「とんちの会」が門松づくり



正門前には12月24日に「とんちの会」で手作りした立派な門松が飾られています。協力のために福岡から駆けつけた方もいらっしゃいました。感謝です。よろしければ、ぜひ、ご入会

を！

11人目の用心棒



【有田 音羽さん】



【東野 蓮月さん】



【浜田 栞名さん】



12月22日の午後、時津公民館で標記の会が行われました。代表者は上の6年生3名。実に見事な発音とパフォーマンスでした。さらに感動したのは、応援に駆け

付けた友達の姿（右上）。幸せですね。